

●その他意見等について

【資料3】

質問番号	該当施策	意見・質問の内容	担当課
1	全体	<p>&lt;目標指標に関するご意見&gt;                      ○31年度までの5か年の目標であることを考えれば、初年度や2年度目に達成率が100%以上になることは基本的に望ましくない。目標設定自体が甘いと思われる。徐々に達成率が上昇し、最終年近くに100%以上となるべき姿と考える。中間年での達成率としては80%程度が妥当な線ではないか。                      ○開催回数や相談件数などを成果指標として妥当か疑問である。実施すればそれで良いということではなく、参加者や相談者が満足を得られ、事業として成果が上がったかどうかで評価すべき。成果指標の取り方を検討する必要がある。                      ○現行の制度では委員の評価も担当課所の設置目標の多寡によって左右される。担当課所の目標が低く(甘く)設定されていれば、委員の評価も高くならざるを得ない。過去の年度からの上昇度合いで判断するような評価基準を考えるべきである。                      ○事業によって、評価にばらつきがある。また指標が客観的過ぎて判断できないものがある。</p>	子ども総務課
		<p><b>意見・質問に対する回答</b></p> <p>第2次子ども・子育て未来プランに掲げた各取組・事業レベルでの目標指標については、毎年度評価を実施することから、数値で計れる目標を設定しているところですが、取組・事業によっては数値での設定が難しい項目もあります。今回の中間年の見直しにあたり、既に31年度の目標を達成した目標値については、中間値の維持もしくはさらに高い目標値を設定するよう変更しており、また目標指標そのものをアンケート等の満足度で計れる指標等に見直したものもあります。                      満足度等による指標設定については、各事業においてアンケートを個別に実施する必要があり、個別に行っていない場合には、数年単位で実施する意識調査の機会に計ることが可能と考えます。                      いただきましたご意見を踏まえ、指標のあり方自体の見直しを行い、指標設定の方法や数値目標の考え方などを整理し、中間年で反映可能なものは反映し、すぐに反映できないものについても、次回プラン作成時に向けて検討してまいります。</p>	
2	1-1	<p><b>意見・質問の内容</b></p> <p>企業の安定的な人材確保に向け、市内における休日保育受入れ施設の早期拡充について、どのように考えるか見解を聞きたい。</p>	子ども育成課
		<p><b>意見・質問に対する回答</b></p> <p>休日保育の需要は、女性の社会進出や就労形態の多様化などから、年々高まっていると認識しており、利用状況調査を行ったところ、施設によって利用人数に偏りはあるものの27年度と28年度の利用率はほぼ横ばいで推移しております。                      休日保育などの特別保育を実施するためには新たに保育士が必要となることから、保育士の就職を支援するための保育士・保育所支援センターを設置したところであり、今後、保育施設で特別保育に取り組むことができるよう保育士の確保に努めてまいります。                      また、休日保育も含めた多様な就労形態に応じた保育サービスが提供できる企業主導型保育事業については、複数の企業合同により設置できるほか、本市独自の整備費等の助成や税制面の優遇措置を講じており、今後は国の動向を注視しながら、設置促進に向けて取り組んでまいります。</p>	
3	1-2	<p><b>意見・質問の内容</b></p> <p>秋田市版ネウボラと地域包括支援センターとの連携については、どのように考えるか？</p>	子ども健康課
		<p><b>意見・質問に対する回答</b></p> <p>地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口であるため、個々の相談支援のなかで、高齢者に関する相談を受けた際の相談先として紹介するなどし、逆に地域包括支援センターで乳幼児に関する相談を受けた際には紹介してもらうなど、相互に連携を図っていきます。</p>	
4	1-2	<p><b>意見・質問の内容</b></p> <p>病児保育施設について、今後の増加見込みはあるのか。</p>	子ども育成課
		<p><b>意見・質問に対する回答</b></p> <p>病児保育事業のうち施設が行う体調不良型や病後児対応型は、合わせて現在9施設が実施しておりますが、新たに実施するには、病児の静養などのために専用スペースと看護師の配置が必要であり、また、施設においては、規模や地域などにより需要の見込みも様々であるため早急な実施施設の増加は難しいものと考えております。</p>	

質問番号	該当施策	意見・質問の内容	担当課
5	1-3	児童館でのケガやトラブルを誰も見ていなく、わからないとの話を聞く。	子ども育成課
		<b>意見・質問に対する回答</b>	
		各児童館では、国のガイドラインに基づき、児童厚生員を2名配置し、更に、来館児童数の多い施設や施設の形状により、職員を増員してケガやトラブルを的確に把握するよう努めております。 児童館で発生したケガについては、事故報告書を子ども育成課に提出することとしており、また、トラブルについては、児童館で解決できない場合は子ども育成課やコーディネーターに相談することとしています。 なお、児童館から報告があった案件については、毎月実施している児童厚生員会議において周知し、それぞれの館に照らし合わせて、その未然防止について職員同士で話し合いを行うよう指導しているところであります。	
6	2-1	<b>意見・質問の内容</b>	
		秋田市版ネウボラでの継続的支援の実績はどうなっているか？	
		<b>意見・質問に対する回答</b> ネウボラにて面接した妊婦のうち、4.8%(33人)の妊婦について継続支援を行いました。(平成28年度実績)	
7	2-1	<b>意見・質問の内容</b>	子ども健康課
		○秋田市版ネウボラの役割からすると、本来のネウボラとの違いが多いことから、名称をわかりやすく日本語にしているか？ ○ネウボラという言葉は日本には音としてなじまないと感じる。国が使っているとしても秋田では、例えば「アドバイザー」とか「サポーター」など、意味を伴う単語を使うべきである。ネウボラでは何もイメージできないので。	
		<b>意見・質問に対する回答</b> 開設時より「秋田市版ネウボラ」で周知しており、引続き名称を変更せず妊産婦へ浸透していくよう関係機関の協力を得ながら周知を図っていきます。	
9	3-1	<b>意見・質問の内容</b>	学校教育課
		不登校やひきこもり等の実態が見えず、それらに対応する事業がないように思われる。それは別の計画にあるのか？もし無いようであれば実態の把握が必要と考える。	
		<b>意見・質問に対する回答</b> 学校教育課の適応指導センター「すくうる・みらい」運営事業において、不登校やひきこもりの児童生徒の支援に取り組んでいる。スクールカウンセラー配置事業および「心の教室相談員」配置事業を活用し、不登校やひきこもりに対する相談活動の充実に努めております。	
10	3-2	<b>意見・質問の内容</b>	子ども育成課
		児童育成クラブの活動回数の減少は、大きな問題か？	
		<b>意見・質問に対する回答</b> 放課後子ども教室は、地域と連携協力しながら活動することとしているため、地域のボランティア組織である児童育成クラブは、活動回数の減少よりも組織されていない児童館への設置が課題であると捉えております。	
11	3-2	<b>意見・質問の内容</b>	子ども総務課
		市民サービスセンター、コミセン等の受付担当者への不満がどれだけ大きいか把握しているか。これが実はネックになっているのではないか。	
		<b>意見・質問に対する回答</b> ご意見については、担当課へ伝え、改善に努めてまいります。	

質問番号	該当施策	意見・質問の内容	担当課
12	3-3	情報モラル指導の対象は中学生以上でしょうか?もしそうであれば乳幼児、小学生も含めて欲しい。	学校教育課
		<p style="text-align: center;"><b>意見・質問に対する回答</b></p> 小学校においても、特別活動や道徳の時間等で情報モラル指導に取り組んでおります。	
13	3-4	<p style="text-align: center;"><b>意見・質問の内容</b></p> 結婚についても、個人の価値観や、外部要因が大きいので、なかなか結果を出すのは困難だと感じる。せめて結婚願望の高い人同士を結びつけるシステムをつけると良いのでしょうか。	子ども総務課
		<p style="text-align: center;"><b>意見・質問に対する回答</b></p> 若者の出会いの場を提供する事業として、シングルズカフェ秋田を実施しており、その中で、セミナーを行い、独身男女の意識の醸成を図っております。さらにあきた結婚支援センターのマッチングを紹介しているほか、会員登録を促すため登録料の補助も行ってまいります。	
14	4-1	<p style="text-align: center;"><b>意見・質問の内容</b></p> 病児保育の充実より、子どもが病気の時はしっかり休めるよう企業への働きかけをお願いする。	子ども総務課
		<p style="text-align: center;"><b>意見・質問に対する回答</b></p> 講演会の開催やハンドブックの配布により、子の看護休暇等の制度が取得しやすい職場環境づくりを企業に働きかけてまいります。	
15	5-1	<p style="text-align: center;"><b>意見・質問の内容</b></p> 夜間防犯のため、町内を明るくすることは良いことだが、各町内にこの取組が周知されているのか。	生活総務課
		<p style="text-align: center;"><b>意見・質問に対する回答</b></p> 取組については、毎年町内会長あてに送付する文書に同封し、各町内会に周知を呼びかけてもらい、申請等を受け付けております。	
16	6-3	<p style="text-align: center;"><b>意見・質問の内容</b></p> 必要とするサービスとは何か？	障がい福祉課
		<p style="text-align: center;"><b>意見・質問に対する回答</b></p> 主に障がい児が利用する通所支援サービスで、日常生活における基本的な動作の指導、生活能力向上に必要な訓練や集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスになります。	
17	6-3	<p style="text-align: center;"><b>意見・質問の内容</b></p> 障がい福祉サービス等を必要とする障がい児に対する当該サービスの提供率はどうやって調べているのか？	障がい福祉課
		<p style="text-align: center;"><b>意見・質問に対する回答</b></p> 障害福祉サービス等の支給決定は、相談支援事業者が利用計画相談支援により、障がい児やその家族が希望するサービスや支給量を相談した利用計画案を作成し、提出することになっており、利用計画案の確認により支給しております。	